



さくら湖だより



さくら湖自然教室2004

夏休みのイベント「さくら湖自然教室2004」が7月25日(日)に開催されました。当日は59家族155名のご家族に参加いただき、とても楽しい1日となりました。



今月のお知らせ

水と緑の写真コンテスト (さくら湖と大滝根川)

平成16年10月10日(日)
当日閉印有効

さくら湖周辺と大滝根川流域の水と緑をテーマにした楽しい写真を募集しています。撮影期間は問いません。



※募集要項(応募用紙)は三春ダム資料館にも置いています。詳細については三春町自然観察ステーション「水と緑の写真コンテスト」係 (tel 0247-61-1546) までお問い合わせ下さい。



三春ダムの特徴

No.14

水質保全対策
(浅層循環施設)

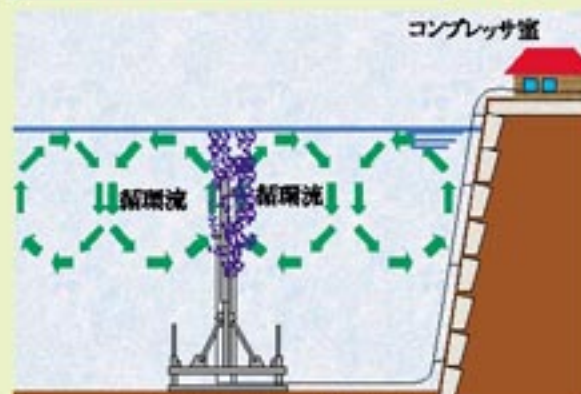
表層に循環流を形成する浅層循環施設

植物プランクトンの栄養となる窒素・リンなどに対して、三春ダムでは色々な方法を組み合わせた水質保全対策を実施しています。

まず前貯水池で窒素・リンを沈め、さくら湖への流入を防ぐことは前号で述べました。他にもさくら湖には浅層循環施設という施設があります。

浅層循環施設は、水深10~20mの位置で空気を吹き上げることによって、さくら湖の水を循環させ、下から冷たい水をあげて、表面の水温を下げることで、表層にいる植物プランクトンを下に送り込み光を遮断し増殖を抑制しています。

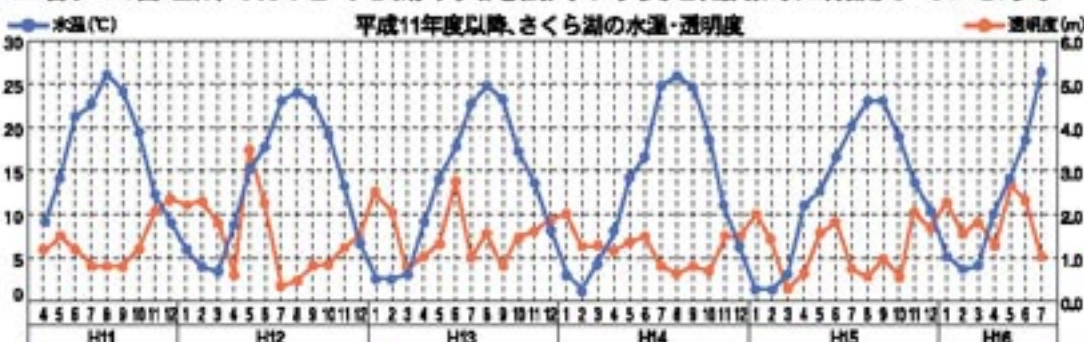
さくら湖でポコポコしているのが浅層循環施設なのね!



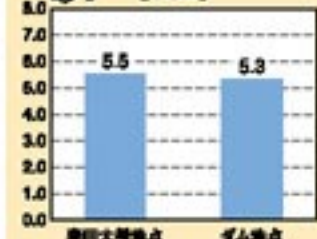
浅層循環施設(さくら湖に計5機)

水質の状況 (平成18年7月27日現在)

三春ダム管理所では、さくら湖や大滝根川の水質を定期的に観測しています。



[COD]



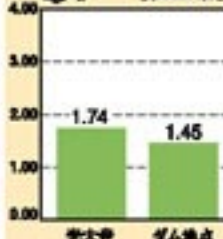
■COD(化学的酸素要求量)
コイ・フナ類が生息するためには5mg/l以下が適当とされています。
※全量平均値

[BOD]



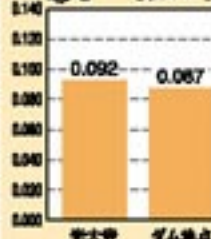
■BOD(生物化学的酸素要求量)
大滝根川では2mg/l以下とされています。
また、コイ・フナ類が生息するためには5mg/l以下が適当とされています。

[総窒素]



■総窒素
一般に窒素が0.15mg/l以上であると富栄養化するとされています。

[総リン]



■総リン
一般にリンが0.02mg/l以上であると富栄養化するとされています。

三春ダムからのお知らせ

三春ダムでは、皆様のご意見や情報の提供をお待ちしています。

郵便またはFAXで 〒963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
国土交通省 三春ダム管理所 FAX 0247-67-3170

■インターネットでも、さくら湖だより・さくら湖管理ニュースを見ることができます。
ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>



お願い

ダム下流での釣り、水遊びなど河川利用される方は、気象情報・放流情報に十分注意をお願いします。

■郡山東1.Cから車で約15分
■郡山駅から車で約20分
■三春駅から車で約10分